

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	疾病の重症化予防のための食事指導拠点整備事業	担当部局庁	健康局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度	担当課室	がん対策・健康増進課	がん対策・健康増進課長 木村 博承				
会計区分	一般会計	施策名	IV-3-7 健康づくりを推進する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	平成23年度疾病の重症化予防のための食事指導拠点整備事業の実施要綱について					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	糖尿病等の疾病の重症化予防を目的とした食事指導の実施体制の整備をはかるため、診療所で地域特性や個々の患者の状況に応じた食事指導を行うことのできる在宅管理栄養士の活用促進に向けたスキルアップ等の研修を行うことを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	社団法人日本栄養士会に事業の実施を委託する。 (1)糖尿病の重症化予防を目的とした食事指導の活動拠点となる体制整備のあり方を検討するとともに、診療所等で食事指導を行う在宅管理栄養士を対象とした研修プログラム及び教材を開発し、その検証を行う。 (2)地域の食事指導活動拠点の体制整備に向けたリーダー研修を実施するとともに、在宅管理栄養士を対象としたスキルアップ研修を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	27	21	19	21	21	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	27	21	19	21	21	
		執行額	27	15	19			
	執行率(%)	100.0	71.4	100.0				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	当該事業における研修は、全国12箇所で開催され、研修会場ごとで受講者数が異なるため、当該事業に係る成果を具体的に数値化することは困難である。	成果実績			-	-	-	-
		達成度	%		-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	全栄養ケアステーション(47箇所)の活動数 全国12箇所1878名を対象としたモデル研修会	活動実績			47	47	47	-
		(当初見込み)			(-)	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	- (円/)	算出根拠		当該事業は、疾病の重症化予防を目的とした食事指導の実施体制の整備、在宅管理栄養士の活用促進に向けたスキルアップ等の研修を目的としており、定量化になじまない。また、当該事業における研修は、全国12箇所で開催されており、研修会場ごとで受講者数や会場の借料が異なるため、単位あたりのコストを算出するのは困難である。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	衛生関係指導者養成等委託費	21	21					
	計	21	21					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	糖尿病等の生活習慣病は、合併症や脳卒中、心血管疾患の発症・進展により、生活の質の低下等を招く恐れがあることから、重症化予防が重要とされている。適切な食習慣は生活習慣病重症化予防に寄与することから、食事指導の実施体制の整備、在宅管理栄養士の活用促進は広く国民のニーズがあると考えられる。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	地域特性や個人の状態に応じた食事指導を行う在宅管理栄養士の活用促進を図り、地域における栄養支援活動を均てん化するため、国が実施すべき事業である。
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先は、高い専門的技術を有する職能団体であり、選定は妥当である。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	全国47カ所に整備された栄養ケアステーションは、地域における栄養支援に活用され、受益者の生活習慣病予防、介護予防に寄与していることから、負担関係は妥当であるといえる。
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	食事指導実施のための栄養ケアステーションの整備、在宅管理栄養士の活用促進に向けたスキルアップのための研修等の実施は必要な費目・使途に限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	栄養ケアステーションは各都道府県に1カ所に整備されており、各地域における栄養支援を実施する上で、実効性の高い手段となっている。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	全国12箇所1878名を対象にモデル研修会を企画・実施し、在宅管理栄養士のスキルアップを図るとともに継続した研修事業への展開を図る等、活動実績は見込みに見合ったものとなっている。
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	全国47カ所に整備された栄養ケアステーションは、地域における栄養支援に活用されている。また、全国12箇所1878名を対象にモデル研修会を企画・実施し、在宅管理栄養士のスキルアップに寄与している。
点検結果	目的・予算の状況、資金の流れ、費目・使途、活動実績等について妥当であったため、今後も引き続き適切に実施する。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	事業の必要性、執行の観点からの評価としては概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	－		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	313	平成23年行政事業レビュー	284

※平成23年度実績を記入

厚生労働省
19百万円

事業目標・計画、事業の進捗状況、
事業成果の確認等

↓
【委託】

A. 日本栄養士会
19百万円

○在宅管理栄養士の活用促進に向けたスキルアップ等の研修の企画運営、
評価解析事業(事業評価委員会の実施、プログラム検討部会の実施)

○在宅栄養士スキルアップ等研修事業(人材育成のための体制整備と事業
の実施、保健指導等実践事例の情報収集とその整理・活用)

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

A.日本栄養士会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	食事活動拠点整備事業、スキルアップ研修事業	9			
その他	消耗品費、通信運搬費、借料等	5			
印刷製本費	研修に係る資料作成費、報告書作成費	4			
報償費	部会外部委員等謝金	1			
計		19	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)日本栄養士会	疾病の重症化予防のための食事指導活動拠点整備事業	19		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					